

地球は、「水の惑星」といわれ、地球上には約496兆トンもの水があるといわれています。

この水の約97.5%は海水で、淡水は約2.5%です。しかも、私たちが利用できる河川・湖沼の水や地下水は、地球全体のわずか0.8%にすぎません。

一般的に日本は「雨の多い国」といわれています。たしかに1年間の平均降水量は1,714mmで世界平均の約2倍もあります。しかし、国土が狭く人口が多い日本では、1人当たりが使える水の量は世界平均の約5分の1になってしまいます。

水需要期の今、「水の日」を機会に水の大切さについて考えてみましょう。ここでは、節水の知恵を紹介します。さあ、実践してみましょう。

水を大切に・・・

8月1日は「水の日」

8月1日～7日は「水の週間」です

問合せ先 水道管理課 66 1129 水道工事課 66 1130



お風呂で

1日に私たちが使用する水の約4分の1が、お風呂で使われます。風呂水の再利用が、節水の大きな鍵となります。

一般家庭で使用されている浴槽は、約180リットルの水が入ります。毎日、残り湯の半分を再利用すると、年間約3万3千リットルの節水ができます。

残り湯は、洗濯、掃除、散水などに活用しましょう。



洗濯で

家族構成や人数によって、使う水量もかなり違ってくる洗濯。風呂の残り湯はしっかり再利用しましょう。

ある程度の量がたまったらところで、まとめ洗いをして洗濯の回数を減らしましょう。また、小物1〜2枚のときは、風呂上りにさっと手洗いで済ませましょう。

ためすぎで洗濯すれば、1回の水の使用量は約110リットルで済み、流しっぱなしのすすぎに比べて55リットルも節約できます。



キッチンで

流しっぱなしで食器を洗うと、平均して約110リットルの水を使用します。ため洗いに行くと20リットル足らずで済みます。油分を落とす時、あらかじめ紙でふきとっておくと、かなり水を節約できます。

食器洗い乾燥機も、手洗いに比べて1回あたり30リットルの節約になります。1日2回の使用で年間2万リットルの節約になります。



名 節水名人

ここまですれば、洗車のとき、ホースを使うと約240リットルの水を使用します。バケツにくんで洗うと約30リットルで済み、1回で210リットルの節水ができます。

2カ月に1回届く、「水道使用水量等のお知らせ」で水道使用量を確認し、節水効果を確かめてみるのも良いでしょう。異常に使用水量が多い場合は、漏水の可能性があります。雨水簡易貯留槽を設置し、散水などに利用するのも、良い方法です。